

## <研究の名称>

### 「股関節骨折患者へのポリファーマシー介入の効果に関する研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

#### ◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2015年1月から2016年12月頃にかけて当院内科整形外科に股関節骨折が原因で入院された65歳以上の方で、入院時に5種類以上の薬剤を内服されている方が対象になります。診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報データ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

#### ◆研究(調査)の背景と目的

社会の高齢化に伴い多くの病気を持つ高齢者が増え、多くの薬を内服する高齢者が増えています。しかし残念なことに、実際にはその内服している薬の中には不適切な処方薬が意外と多いという報告があります。そういった場合は、薬の効果よりも害が勝る可能性があり危険です。そのため沢山の薬を内服されている高齢者への介入方法を考えることは重要です。しかし、そういった介入が患者さんの予後を改善するかどうかを検証した臨床研究はほとんどありません。そのため、沢山の薬剤を内服している高齢者への薬剤調整介入の効果を検証するのが今回の研究(調査)の目的です。

この期間に当院整形外科を入院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は「研究不参加」とさせていただきますので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありませんし、「研究不参加」を申し出られても不利益はありませんのでご安心ください。

#### ◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科  
駒ヶ嶺 順平  
電話：028-622-5241